

2015年4月27日

次世代モビリティの公道走行に関する規制の特例措置を受けました！ ～東急線沿線での次世代モビリティによるまち巡りツアーの実施にむけて～

東京急行電鉄株式会社
セグウェイジャパン株式会社

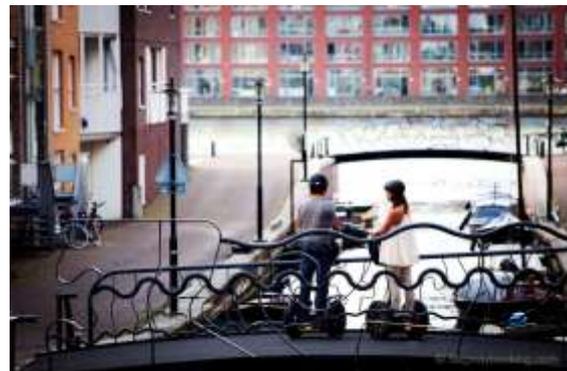
東京急行電鉄株式会社(以下、東急電鉄)とセグウェイジャパン株式会社(以下、セグウェイジャパン)は、産業競争力強化法に基づく「企業実証特例制度」を活用し、次世代モビリティの公道走行に関わる道路交通法および道路運送車両法の規制の特例措置を申請し、新たな規制の特例措置を講ずることとする旨の通知を受けたことを報告します。

今回の規制の特例措置は、セグウェイの公道走行に関し、民間が主体となって受ける規制緩和としては全国初の事例です。また、先行する茨城県つくば市の「モビリティロボット実験特区」では自治体を中心となって行われる構造改革特区の枠組みで進められているのに対して、今回の取り組みは、民間企業が「企業実証特例制度」を活用することにより、検証を行うことを目的としています。つくば市が行っている実験の規制緩和の条件に比べて新たに歩道幅員に関する追加の規制緩和を受けた内容です。

両社は、2012年より、異業種連携によるイノベーション創出を目指す「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム」内の活動を通じ、都市における次世代モビリティ活用のあり方について研究を進めてきました。今回の規制緩和を通じて、セグウェイジャパンが提供する「Segway PT」シリーズなどを活用し、田園都市線・大井町線の二子玉川駅周辺エリア(東京都世田谷区)にて、2015年度上期に、シティガイドツアーを開始する予定です。

本取り組みを通じ、東急電鉄は、新しいテクノロジーや規制緩和などの手法を活用した都市内のイノベーション創出の実例を構築・発信し、次なるイノベーションの担い手となるクリエイティブ人材の集積をはかり、「日本一働きたい街」二子玉川の魅力向上を進めていきます。セグウェイジャパンは、「歩行者と共存する空間での高い親和性」を示した実績を基に、ツアープログラムの内容の充実に努め、全国規模の規制緩和を推進すべく注力していきます。

今後両社は、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、東急線沿線の他地域へ展開も視野にいたった幅広い活動を進めていきます。



シティガイドツアー アムステルダム

以上

(参考)本日、この資料は国土交通記者会、経済産業記者会、ときわクラブ及び都庁記者クラブにお届けしています。

本リリースに関するお問い合わせ先:

東京急行電鉄株式会社 社長室 広報部 広報課 山本 電話:03-3477-6086
セグウェイジャパン株式会社 広報 秋元・深澤 電話:045-263-6151

【別紙】

1. 企業実証特例制度とは

産業競争力強化法(平成25年法律第98号)に基づく「企業実証特例制度」は、企業単位で規制の特例措置を適用する制度です。

構造改革特別区域法に基づく規制の特例措置では、地方自治体が申請主体となる仕組みであるのに対し、企業実証特例制度は、民間企業等が申請主体となります。先行して技術開発・製品開発・サービス展開などを行う新事業活動に対して、規制の背景にある安全性などを確保する措置を確実に実施しながら、必要な規制緩和の内容を政府に要望します。その後、政府において、事業・規制所管両大臣による検討・協議を経て、特例措置の可否を判断する制度になっており、経済活性化につながる規制緩和制度として期待が高まっています。

【URL】

http://www.meti.go.jp/policy/jigyousaisei/kyousouryoku_kyouka/shinjigyo-kaitaku/seidosuishin/

2. セグウェイとは

セグウェイは、アクセルやブレーキ操作なしに重心移動によってその動きを制御する、優れたインターフェースを有しています。そのため発進や停止をスムーズに行う運用に適し、小回りのきいた移動が可能となります。全世界でこれまで数万台の販売実績があり、警察や民間の警備会社、倉庫やコンベンションセンター、空港施設などでの業務利用。その他、セグウェイツアー、アミューズメントパーク、ゴルフ場において利用されています。1回の充電(電気代20円程度)で最大約39キロメートル走行可能とエネルギー効率が高く省エネルギーなモビリティとして評価されています。

※充電は100Vの家庭用コンセントからします。



Segway PT i2 SE 基本モデル

全長及び幅:63cm × 63cm

タイヤ直径:48cm

総重量(アクセサリ除く):47.7kg

積載量(搭乗者含む):45kg - 118kg

走行距離(状況により変化):約24km - 39km

最高速度:約20km/h

バッテリー:リチウムイオンバッテリー

3. クリエイティブ・シティ・コンソーシアムについて(<http://creative-city.jp/>)

クリエイティブ・シティ・コンソーシアム(会長:小宮山 宏)は、二子玉川をモデル地区として、新しい働き方・暮らし方を発信し、持続的に成長する街＝クリエイティブシティをつくることを目的として、2010年8月より活動を続けてきています。2015年2月末現在、法人75社、学術21名、研究2名、個人8名、後援会員22団体が参画し、クリエイティブシティの実現に向けて、そのグランドデザインの検討・発信、必要なインフラの研究・実験・実証等を行っています。

4. シティガイドツアーとは

シティガイドツアーは、欧米を中心に世界1,000カ所で開催されている人気の観光コンテンツの一つです。「クリエイティブな街」として人気の高い、ポートランド・アムステルダム・バルセロナ・パリなどのツアーは、旅行系口コミサイトなどで常に高い評価を受けるなど観光客に好評なコンテンツとして認知されています。

新しい技術やサービスによるイノベーションに積極的なこれらの都市では、従来の移動体とは異なるセグウェイの特徴である「低速でも安定して移動することができること(スローモビリティであること)」に早くから注目し、「ゆとり」と「余裕」のある移動がツーリズムや街歩きにもたらす好影響を十分に引き出したツアープログラムの提供を進めています。

国内においては、つくば市及びロボット特区実証実験協議会が、構造改革特別区域法に基づくモビリティロボット実験特区の認定を受け、2011年6月からつくばセンター駅周辺歩道での実験を進めており、既にまち巡りツアーに高い効果があることが実証されています。



シティガイドツアー アムステルダム

以上